



日本帝國
の勃興

開國五十年史論

伯爵 大隈 重信

明治四十一年 一月廿二日
開國五十年史編纂所氏寄贈

緒言

世界人口の過半を占むる東洋の諸民族は、沈淪して殆ど國家的滅亡に瀕せるに、日本帝國が獨り勃然として興隆せるより茲に僅に五十年、早くも歐羅巴洲に霸視せる一強國と砲火を交へ、名譽の勝利は彼をして震駭措く所を知らざらしめ、以て世界の視聽を聳動せしめたり。物に因なき果は結ばず、日本民族は必ず他の亞細亞民族と異なる傳説と歴史とを有し、其發達成熟によりて、此の如き光彩を發せるものならんとは、世界の想到する所にして、其原因は必ず識者の聽かんと欲する所なるべし。

開國五十年史論 緒言

一

開國五十年史論

早稲田大学図書館蔵 / Waseda University Library

IJ5-2706

